

# 平成31年度予算の概要

**平成31年度市の全体予算**  
852億4361万円

本市は、市政の基本的な施策経費である一般会計(※1)のほか、国民健康保険事業など6つの特別会計(※2)と病院事業など3つの企業会計(※3)があります。会計ごとの予算額は、左表の通りです。

会計名	平成31年度予算額	全体割合
一般会計	470億2993万円	55.2%
特別会計	242億5344万円	28.4%
国民健康保険特別会計	89億7516万円	10.5%
後期高齢者医療特別会計	7億7333万円	0.9%
介護保険特別会計	100億4357万円	11.8%
土地取得特別会計	740万円	0.0%
下水道事業特別会計	44億4318万円	5.2%
宅地造成事業特別会計	1080万円	0.0%
企業会計	139億6024万円	16.4%
水道事業会計	40億4761万円	4.7%
病院事業会計	94億3896万円	11.1%
老人保健施設事業会計	4億7367万円	0.6%
合計	852億4361万円	100%

## 平成31年度の主要な施策(第二次登米市総合計画・政策の大綱別)

### 1 生きる力と創造力を養い 自ら学び人が「そだつ」まちづくり

【新規】保育所等事故防止推進事業(710万円)



うつぶせ寝などによる突然死が全国で相次いでいます。子どもたちを守るため、ベビーセンサーを導入し、見守りを強化します。

【新規】(仮称)石越こども園施設整備事業/小中学校等再編整備事業/学校音楽支援事業/地域伝承文化振興事業/登米市アートフェスティバル2019事業/東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致活動事業

【拡充】誕生祝金支給事業

【継続】結婚活動支援事業(広域連携結婚支援事業を含む)/子ども・子育て支援事業計画策定事業/保育対策総合支援事業/小学校入学祝金支給事業/(仮称)豊里こども園施設整備事業/(仮称)津山こども園施設整備事業/迫児童館駐車場整備事業/学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業/学力向上対策事業/教育用コンピュータ更新事業/上杉文庫基金事業(寄附金活用)/新登米懐古館整備事業/高森パークゴルフ場整備事業

### 2 安全安心な暮らしを支える笑顔で 健康に「いきる」まちづくり

【拡充】予防接種事業(2億5016万円)



平成31年度から、中学3年生を対象に、任意での季節性インフルエンザ予防接種の費用を一部助成します。

【拡充】病院事業(繰出金)

【継続】生活困窮者自立相談支援事業/自立支援給付費支給事業/子ども医療費助成事業/適塩推進対策事業/健康診査事業/高機能消防指令センター機器更新事業/高規格救急自動車整備事業/応急手当普及啓発事業/防火水槽整備事業/消防団車両等整備事業/防災情報伝達手段整備(屋外拡声装置)事業/ミニデイサービス・シニアサロン事業/生活支援体制整備事業/認知症総合支援事業

詳細な資料をご覧になりたい場合は、市公式ホームページの「市政情報」→「行政・施策・計画」→「財政」でお知らせしています。なお、ホームページを見ることができない人には、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。

【問い合わせ】企画部財政課(財政一係) ☎0220(22)2159

### 3 地域資源を活かし魅力ある 元気な産業を「つくる」まちづくり

【新規】木工芸担い手育成支援事業(876万円)



木工芸職人の担い手が不足しているため、地域おこし協力隊制度を活用し、商品開発などに取り組みます。

【新規】買い物機能強化支援事業/農業振興地域整備計画策定事業

【拡充】ビジネスチャンス支援事業/インバウンド誘客事業

【継続】シティプロモーション推進事業/環境保全型農業推進事業/多様な担い手育成支援事業/農業担い手育成支援・農業次世代人材投資事業/農地中間管理事業/畜産総合振興対策事業/汚染牧草等処理事業/園芸産地拡大事業/商店街交流創出事業/観光誘客対策事業

### 4 自然と生活環境が調和し 人が快適に「くらす」まちづくり

【継続】一般廃棄物第二処理施設((仮称)新クリーンセンター)整備事業(32億9078万円)



施設の老朽化に伴い、(仮称)新クリーンセンターを整備しています。平成31年度中に稼働する予定です。

【新規】空き家財処分子業

【継続】移住・定住促進事業/空き家改修事業/住まいサポート事業/定住促進宅地分譲事業/水道管路緊急改善事業(水道事業会計)/市道舗装補修事業/道路維持補修事業(段差解消事業等)/道路新設改良事業/橋りょう維持補修事業(橋梁長寿命化事業)/下水道整備事業(繰出金)/市営住宅建替事業(迫西大綱住宅)

### 5 市民と行政が「ともに」創る 協働によるまちづくり

【新規】迫庁舎長寿命化可能性調査事業(1694万円)



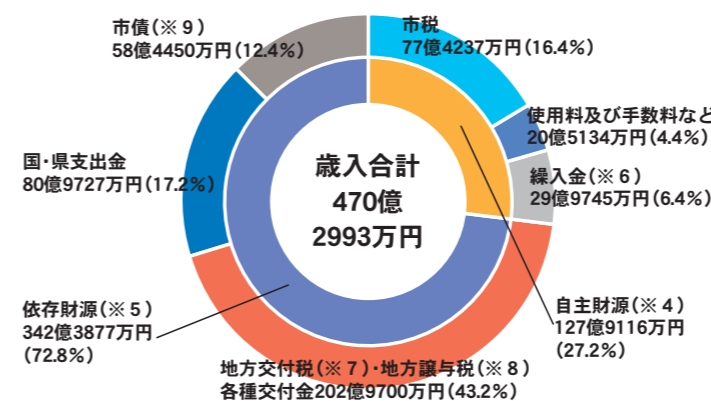
市民サービスおよび施設機能を向上させるため、迫庁舎の専門的調査を実施します。

【新規】RPAによる業務プロセス自動化事業

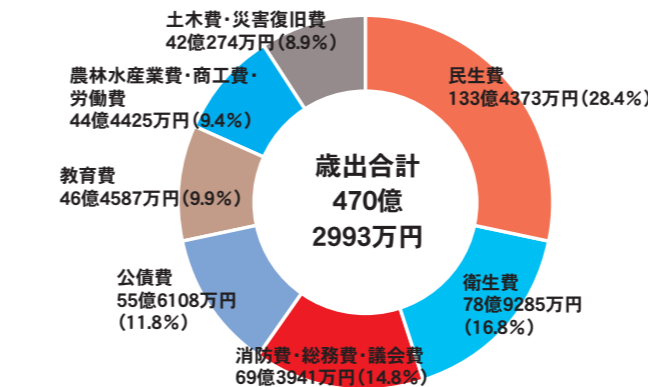
【拡充】女性会議

【継続】ふるさと応援寄附金事業/庁舎設備劣化診断調査事業/未来のまちづくり支援事業

### 一般会計歳入予算



### 一般会計歳出予算



額は、470億2993万円で、前年度に対して66億3738万円の減となりました。

歳入は、地方交付税などの交付金が約203億円、国・県支出金が約81億円、これらを合わせると約284億円と歳入合計の約60%を占めており、依然として国や県などへの依存度が高い状態にあります。

歳出は、子どもやお年寄り、障がい

者に対する福祉の充実などに使われる民生費が約133億円と最も多く、次いで健康づくりや環境対策などの衛生費が約79億円、市民を守る消防・救急などの消防費、市の管理業務である総務費、議会運営関連経費である議会費を合わせると約69億円、大規模な事業の借入金の返済経費である公債費が、約56億円と続いています。

#### 【会計区分の解説】

▼一般会計(※1) 市税、地方交付税、国・県支出金を主な財源とし、福祉、教育、建設などの市政の基本的な施策に係る経費の会計

▼特別会計(※2) 国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業で、保険料など特定の財源で賄われ、一般会計と区別して経理する必要がある会計

#### 【歳入科目の解説】

▼自主財源(※4) 市独自の収入、家計に例える給与や不動産の売却収入など

▼依存財源(※5) 国や県の意思により定められた額を交付される。国・県支出金は家族からの援助、市債は金融機関からの借入れに当たる

▼繰入金(※6) 市の基金(貯金)を取り崩したものである

▼地方交付税(※7) 市町村が、一定水準のサービスを提供できるよう、国から交付される

▼地方譲与税(※8) 国が市に変わって集めた税金が配分されるもの

▼市債(※9) 事業をする際に借入れられるもの

#### 【歳出科目の解説】

▼民生費 子どもからお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援など

▼衛生費 健康づくりや環境対策など

▼消防費 総務費、議会費 市民を守る消防・救急や市の管理業務、議会運営など

▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済

▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般

▼土木費 災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修

▼農林水産業費、商工費、労働費 豊かな農林業の発展や多彩な商工業の進展、雇用対策など